

3類型	鉱工業品	通巻番号	6-20-039
地域資源名	天然素材衣服、天然素材服飾雑貨	認定日	平成20年6月13日
地域	島根県大田市	所管省庁	経済産業省

事業名：地域に根ざしたアパレルブランド「根々 ねね」の開発。団塊ジュニアの心に触れるものづくり。

会社名 株式会社 石見銀山生活文化研究所
 連絡先：TEL:0854-89-0131
 FAX:0854-89-0180

所在地：島根県大田市大森町ハ183
 H P：<http://www.gungendo.co.jp>

事業概要(新たな活用の視点)

- ・「石見銀山から全国に発信する」ことをテーマとして、これまで団塊世代の女性をターゲットに婦人服等を提供してきた。
- ・本事業では、「石見銀山」と「ものづくり」と「若もの」を結びつけた新概念のもとに、生活着や生活雑貨を、団塊ジュニアとその家族をターゲットに提案する。
- ・ターゲットと同世代の作り手自らが、片田舎の古民家に暮らし、その日々の暮らしの中から育まれたアイデアや思いを商品化していく。

根々

ねね



売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・大手アパレルメーカーが訴求していない、作り手の顔を訴求する。「石見銀山」という歴史的背景のある片田舎で生活する若い作り手たちが、「手仕事」「母親のぬくもり」「環境にやさしい」をキーワードに、新しい生き方や価値観を消費者の心に直接訴える。

◆市場性

- ・団塊ジュニア世代は、1971年～1976年生まれの人たちを指し、約1100万人もいるといわれている。彼らの消費行動の一つとして「自分が納得したものを購入する」という傾向が挙げられている。
- ・「根々 ねね」は、「もの」だけでなく、その背景にある「こと」にも価値を持たせている。この「こと」には団塊ジュニア世代の幸せ感を満たすと考えている。

◆販路

- ・本事業は、卸売り先としての専門店、直営店、Web通販を3本柱として展開する。年3回の「展示会」、「ホームページ及びWeb通販システム」、「ワークショップ」や石見銀山での「交流イベント」を通し、一般顧客の獲得を目指す。また、ツールとして、「コンセプトブック」を発行。



地域資源における関係事業者との連携

当社製品の製造を担当できる近隣の縫製工場を発掘し、製造委託などの連携を深めていく。その際に、島根県や大田市などの協力を要請し、早期の連携実現を図っていく。